五感で明日香を感じよう

～「あすかナビ」はじめました。～

明日香まるごと博物館づくり推進協議会
（事務局：明日香村地域振興室）

１.「あすかナビ」運用開始までの経緯

奈良県明日香村は飛鳥時代の約１００年間都が置かれていた地で、古代日本の政治・文化の中心でした。現在も歴史的風土や自然環境が保存され、石舞台や高松塚をはじめとする古墳や遺跡、寺院・神社、石造物、国営公園や文化施設などがあり年間 80 万人以上が訪れています。

明日香村は村全域が「古都保存法」の指定を受け、「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」（明日香法）により、貴重な歴史的風土の保存と住民生活の安定及び産業振興との調和を図るための特別の措置が講じられています。

しかし一方、歴史的風土の保全と地域住民の生活利便性の向上、明日香村への来訪者の快適な移動空間の整備を両立させることは容易ではありません。明日香村には国営公園や寺社境内、宮跡等の広い面積に及ぶ地区が多く、昨今は来訪者の高齢化に加え、村民の高齢化率（65 歳以上人口）も平成 23 年度には 30%を越えており、高齢者や障がい者を含め、誰もが移動しやすい、きめ細かな歩行支援サービスの実現は、喫緊の課題となっています。

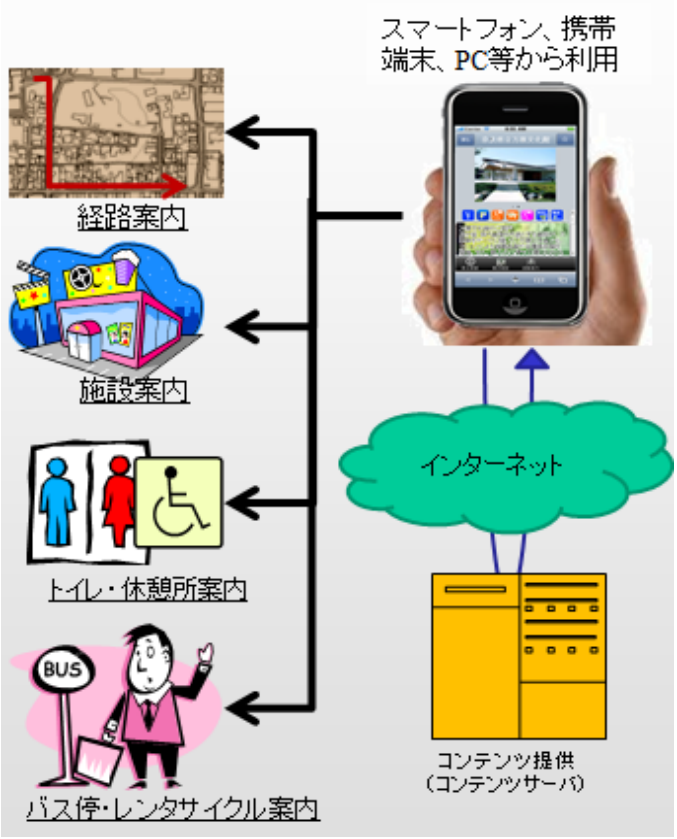
明日香村では、生活風景や遺跡、川の流れなど、村内全域が屋根のない〝博物館〟であるとする「明日香まるごと博物館構想」を観光や産業活性化のための重要施策として推進する計画であり、本構想に基づく村内主要施設の案内コンテンツ整備とも連携して歩行移動支援サービスの導入を進める必要があります。このような背景の中、明日香村地区は、国土交通省より「平成 24 年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援システムに関する現地事業」実施箇所の選定を受け、10 月 13 日（土）から「あすかナビ」と名付けた歩行者移動支援システムの運用を始めました。

２.「あすかナビ」システムの概要とサービス内容

（１）システム整備の考え方

明日香村は、全域が古都保存法の指定を受け、国営公園や寺社境内、宮跡等の広い面積に及ぶ地区が多く、道路が網の目状に広がり、地形も複雑になっているため、健常者でも目的施設に迷わずたどり着くのは難しい場合があります。

年間 80 万人の来訪者や村民の高齢化をふまえ、施設入り口までのバリアフリールートの表示や案内を行い、障がい者等を含め誰もが移動しやすい、きめ細かな情報を提供するため、「明日香まるごと博物館構想」の位置づけのもとに、次のような考え方で、新しい歩行者移動支援サービスを導入することとしました。



◆明日香まるごと博物館づくりに向けた移動支援の新しい情報提供ツールとして位置づけ、五感にうったえる情報提供・交通案内等をパッケージ化し、来訪者に発信する

- **●観光施設、商業施設、公共施設の案内**
- **●公衆トイレ、休憩所の案内**
- **●バス停、レンタサイクルの情報**
- **●通行注意箇所の情報**
- **●各施設のバリアフリー情報**
- **●各施設への経路案内**

◆地域に不慣れな観光客、高齢者、自転車・車いす利用者等を対象とし、スマートフォン等の携帯端末やＰＣから利用できる移動情報提供システムとする

◆地域でタイムリーな情報提供ができるようにシステムを構築し、継続的な運用を目指す

具体的な整備にあたっては、汎用性と運営面を考慮し、次のようなシステム構築を行いました。

◆高齢者や車いす利用者等の移動制約者が快適に移動できるよう、歩行空間の通行注意箇所や主要な史跡・観光施設等のバリアフリー現況、縦横断勾配や最小幅員を調査し、歩行空間ネットワークデータ（ノード数 1205、リンク数 1377）の構築を行う。

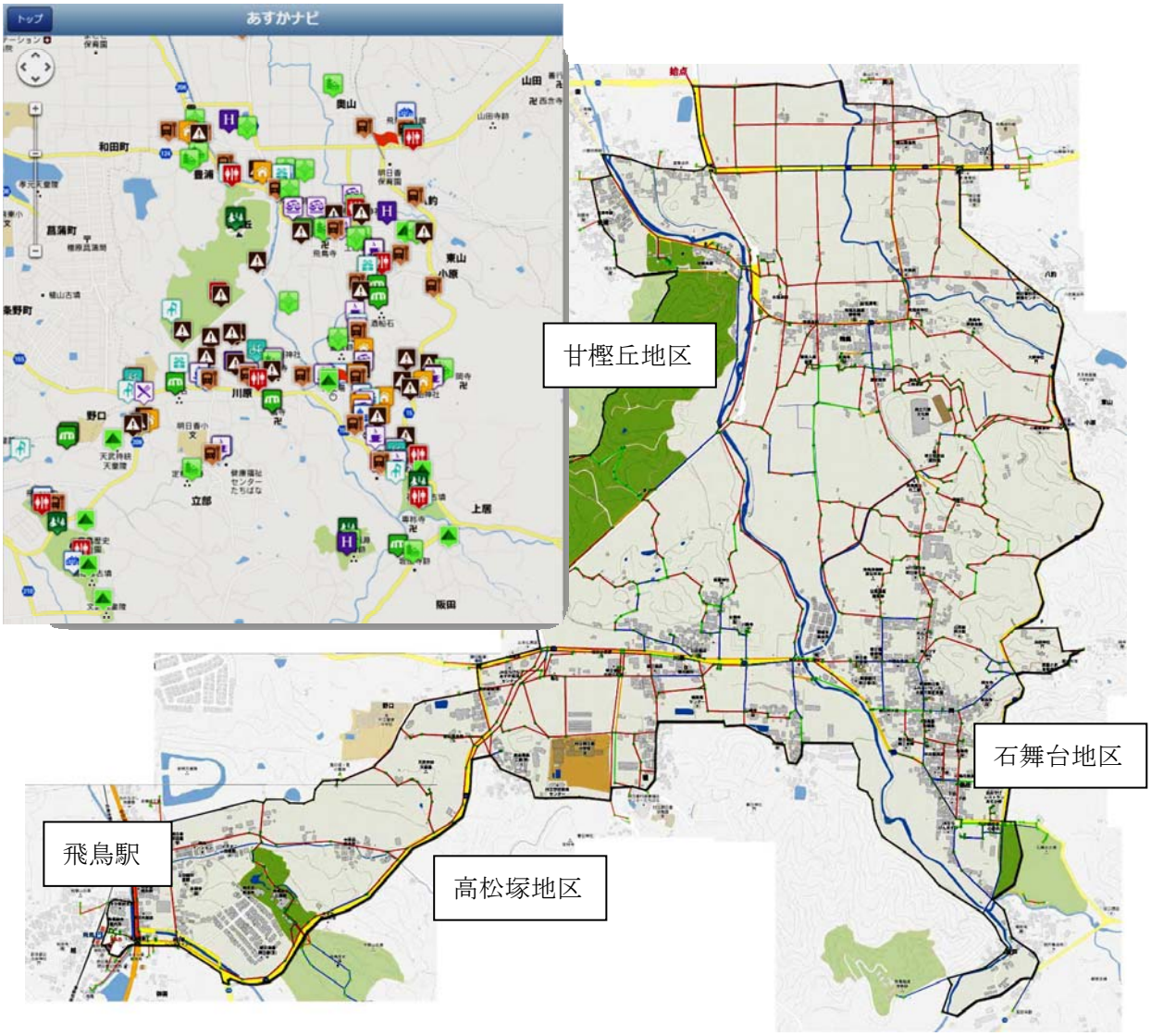
◆特別な端末を使用せず、普及が進むスマートフォンを主な利用端末と想定し、GPS と WiFi を測位インフラとすることで、利用促進と維持管理費の削減を図った。

◆地域の観光ガイドとしても利用できるコンテンツ整備を目指して、幅広い端末で動作する HTML5 ベースの WEB コンテンツとして提供する。加えて運営コストの低減のために汎用型コンテンツマネジメントシステムを構築する。

（２）「あすかナビ」の対象エリアと対象施設

「あすかナビ」のサービス対象エリアは、近鉄飛鳥駅から、来訪者の多い観光拠点が点在する、高松塚、石舞台、甘樫丘等を含む地域としています。

歩行空間ネットワークデータの作成についても、上記のエリアについて、バリアフリー状況や段差・勾配、通行注意箇所等の現地調査を行いました。さらに、国営公園や寺院等の敷地内にも歩行空間ネットワークデータを整備し、スムーズな経路案内ができるようにしています。また、Google Map API によるハイブリッド経路検索システムにより、対象エリア外からでも、シームレスに経路検索を利用できます。さらに徒歩か自転車を選ぶことで最適なルートを表示します。



対象施設と歩行空間ネットワーク

（３）「あすかナビ」の操作の流れ

このシステムを利用する際の流れは、次の通りです。

目的施設を選択すると、写真及び説明文、バリアフリー情報等（アイコン）の基本情報が表示され、メニューに沿って必要な情報が得られる仕組みになっています。

①目的施設選択

施設メニューや地図上のマーカーを選んで目的施設を選択する。

②施設基本情報

施設の情報が表示される。
さらに下の「経路案内」のボタンをクリックするとルートが表示される（5km 以上は車のルート）

③地図で経路・注意箇所を表示

経路が表示され、通行注意箇所の情報もチェックできる。（徒歩または自転車の選択も可）。現在位置が表示されるため、迷わず目的地まで安全に到着できる。

バリアフリー情報（各施設ごとにアイコン表示）、トイレ情報の例を次に示します。

各施設の写真下のアイコンでバリアフリー情報を表示

トイレの場所と詳細情報を案内

自転車・車いすルートと徒歩ルートを比較した例を次に示します。

３．「あすかナビ」の今後の運用

「あすかナビ」は、10 月 13 日から試験運用を始めたばかりですが、秋の行楽シーズンにご利用いただいた方にアンケート調査をお願いしています。この結果を反映し、システムの改良やコンテンツの充実を図りながら、継続的な運用に結びつけたいと考えています。

コンテンツの管理のために WEB ブラウザから編集できる専用の管理システム（右）を構築しており、プログラミング知識のない方でも容易にデータの更新・追加が可能です。

試験運用終了後は、地元の関係団体と協力しながら協議会で運用を続けていくことを想定しています。さらに隣接市町との連携・拡大を視野に入れて運用エリアの拡大を目指します。また写真と文章で解説される施設情報は広告効果も期待できることから、掲載施設からの広告費の取得により維持管理費を捻出するようなビジネスモデルについても検討していきたいと考えています。

「あすかナビ」は、主にスマートフォンやタブレット端末での現地利用を想定したシステムですが、職場や自宅から利用し観光プランを検討できるよう、PC や携帯電話にも対応しています。ぜひ一度アクセスしていただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

「あすかナビ」URL：http://www.kitemite.me/asuka/